

生体病態学Ⅱ

Pathophysiology Ⅱ

単位数：5単位

○和田孝一郎 教授：薬理学
岡本 貴行 准教授：薬理学

兒玉 達夫 准教授：眼科学

1. 科目の教育方針

さまざまな炎症性疾患について、それぞれの病態生理や原因、発症機序を個体レベルから分子レベルにいたる各層にまで広く学ぶ。さらに、それらの診断法、治療法、対処法、予防法などを最新の研究結果や知見から学習する。

2. 教育目標

一般目標 general instructional objectives

炎症性疾患の治療法、対処法、予防法を習得あるいは確立するために、炎症の発症メカニズムと病態生理を学習する。

行動目標 specific behavioral objectives

- 1) 炎症の概念と発症機序を分子・細胞レベルで概説できる。
- 2) 各種の炎症性病変（循環器系、呼吸器系、結合組織系、眼・視覚系、等）の病態生理と発症メカニズムを概説できる。

3. 教育の方法、進め方

講義、学生によるプレゼンテーション、討論によって進める。また、必要に応じて講座で行われる研究会に参加して最新の知見を習得する。

4. 成績評価の方法

すべての講義および演習が終わった後、規定の出席率（2/3以上）を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度を主眼として評価する。

5. 使用テキスト・参考文献

テキスト、教科書はとくに選定していない。最新の情報、知見などを論文等を基にした資料として適宜、配布する。

6. 教育内容

回	授業内容	担 当
1	炎症学概論：組織の破壊と修復	和田孝一郎
2	急性炎症と慢性炎症；炎症細胞メディエータ、サイトカイン	和田孝一郎
3	急性炎症の病態生理・薬理学：COX-1 と COX-2	和田孝一郎
4	炎症の病態生理・薬理学：NSAIDs とステロイド：最新の知見	和田孝一郎
5	炎症の病態生理・薬理学：炎症における微小循環と接着分子	岡本 貴行
6	慢性炎症性疾患の病態と発症機序①：メディエーター	和田孝一郎
7	慢性炎症性疾患の病態と発症機序②：血液成分と循環	岡本 貴行
8	慢性炎症と線維化：Collagen Diseases を再考する	岡本 貴行
9	眼科領域における炎症性疾患：リンパ増殖性疾患	兒玉 達夫
10	学会・研究会参加による最新情報の入手①	兒玉 達夫
11	学会・研究会参加による最新情報の入手②	兒玉 達夫
12	疾患モデル動物を用いた病態発症機構の解析と薬物治療学	和田孝一郎
13	慢性炎症と線維化：各種疾患の薬物治療①	和田孝一郎
14	慢性炎症と線維化：各種疾患の薬物治療②	岡本 貴行
15	慢性炎症性疾患の最新知見：今後の動向	和田孝一郎